

【記入例】※ボールペンではっきりと記入してください。

※訂正は二重線で消し、近くの余白に正しい内容を書いてください。

申請書の
記入日

様式第1号（第3条関係）

特別支援教育就学奨励費申請書

令和8年4月20日

児童生徒氏名	学校名	学年	学級名
手賀沼 うな美	手賀沼小 学校	4年	けやき組

申請の場合は
記入不要

辞退者	特別支援教育就学奨励費に係る申請を辞退します。 (辞退の場合記名してください。以下記入不要です) 保護者氏名 _____
-----	--

就学援助の申請の有無	有 無 (どちらかに丸印)
------------	---------------

申請者同意欄	次とおり、特別支援教育就学奨励費の申請をします。申請にあたり次の事項に同意します。 1. 私は、特別支援教育就学奨励費の審査に必要な所得や住民登録の状況を市職員が確認することに同意します。 2. 私は、児童生徒が在学する学校の校長に次の権限を委任することに同意します。 ①特別支援教育就学奨励費の請求、返還、管理に関する権限 ②学校納付金を滞納しているときは、特別支援教育就学奨励費を学校納付金に充てて処理する権限 ③(第三子給食費無償化認定者のみ)学校給食の現物支給に同意し、特別支援教育就学奨励費のうち学校給食費に対する額の受領に関する一切の権限 (申請の場合必ず記名⇒) 保護者氏名 <u>手賀沼 うなさち</u>
--------	--

申請事由	該当事由を✓してください <input checked="" type="checkbox"/> 特別支援学級に在籍している <input type="checkbox"/> 通常学級に在籍し、通級指導を受けている	障害状況	該当があれば記入してください ・愛の手帳(療育手帳)【 度】 ・身体障害者手帳【 級】 ・精神障害者保健福祉手帳【 級】
------	---	------	---

左側の
「申請事由」
にチェック!

住所	我孫子市 我孫子 123-456 手賀沼マンション 789 (TEL ●●●● - ●●●● - ●●●●)
----	---

家族状況 (生計を一にする者全員)	氏名	生年月日	続柄	職業・学校名(学年・クラス)
	手賀沼 うなさち	S H・R58年5月5日	本人	会社員
	手賀沼 うな子	S H・R60年8月8日	妻	パート
	手賀沼 うな美	S H・R28年6月6日	長女	手賀沼小 4年生けやき
	手賀沼 うな郎	S H・R 年7月7日	次男	手賀沼保育園 年長
		S・H・R 年 月 日		

単身赴任など
で別居中のご
家族も記入し
てください。

(裏面も記入してください)

交通経路	徒歩または自転車で通学・通級する方は記入不要です			
	公共交通	経路（駅名・バス停名）	片道運賃	1か月定期券代
	電車	駅から 駅まで	円	円
	バス	から まで	円	円
自家用車	自宅から学校まで（片道） 2 km			
居住状況	令和8年1月1日現在の居住状況で該当するものに✓してください			
	<input checked="" type="checkbox"/> 我孫子市に住民登録していた <input type="checkbox"/> 我孫子市に住民登録していなかった→前住所地から所得（課税）証明書を取り寄せて添付してください			
振込口座（どちらかに✓）	<input checked="" type="checkbox"/> 学校徴収金引落とし口座を指定する（以下記入不要） <input type="checkbox"/> 左記以外の口座を指定する（以下に記入）			
	金融機関名		支店名	店
	預金種別	普通 ・ 当座	（ゆうちょのみ）記号	
	口座番号			
	フリガナ			
	口座名義			

公共交通機関利用者
または自家用車利用者は記入

どちらかにチェック
「住民登録していなかった」方は添付書類を忘れずに！

ゆうちょ銀行は「番号」を口座番号に記入 5桁の場合は左詰で記入 記入方法が不明な場合は通帳の写しを添付ください。

----- 【以下教育委員会使用欄（記入不要です）】 -----

世帯の収入状況（円）	
所得控除前の所得控除	総所得額
	退職所得金額
	山林所得金額
	計(A)
	社会保険料
	生命保険料
	地震保険料
	小規模企業共済等掛金
	ひとり親控除
	雑損控除
	計(B)
所得額(A-B) (C)	
収入額(C×1/12) (D)	

需要額等（円）	
教育扶助基準額(a)	
教材代(b)	
学校給食費(c)	
通学費(d)	
生活扶助第1類(e)	
期末一時扶助費(f)	
障害者/母子加算額(g)	
第2類基準額(h)	
地区別冬季加算額(i)	
生活扶助基準計(j) (e×通減率、f～iの合計)	
住宅扶助基準額(k)	
需要額(a～d, j, k計) (l)	
収入額D/需要額1	
支弁区分	<input type="checkbox"/> II段階 <input type="checkbox"/> III段階